

令和４年度９月議会の補正予算について

補正予算

一般会計（補正第６号）

- ・人口減少対策パッケージの中で、子ども医療費及び児童手当の所得制限を市独自でなくすと共に、保育料における多子世帯の軽減基準を見直すためのシステム改修経費、及び立地企業の従業員居住地調査等を行う経費
- ・路面損傷が進行している市道上之輪嘉例川線の舗装工事
- ・本多忠勝と千姫の大河ドラマ誘致にあたり、市民の機運を醸成する経費

ほか計上する。

補正額	14 億 6,628 万 9 千円	補正後予算額	559 億 59 万 2 千円
-----	-------------------	--------	-----------------

一般会計（補正第７号）

- ・新型コロナウイルス感染症の自宅療養者及びその同居家族の生活を支援するため、食料品や日用品を配送する費用

ほか計上する。

補正額	1,103 万 8 千円	補正後予算額	559 億 1,163 万円
-----	--------------	--------	----------------

企業会計

水道事業（補正第３号）

- ・桑名市水道管路更新事業者選定委員会及び桑名市上野浄水場更新整備事業者選定委員会を設置することに伴い委員報酬等を計上する。

補正額	14 万 5 千円	補正後予算額	45 億 106 万円
-----	-----------	--------	-------------

補正予算の主な事業

◎ 人口減少対策

1 人口減少対策事業費（所得制限撤廃対応）（子ども未来課）

3,360 万円

- ・人口減少対策パッケージの中で、子育て家庭など若い世代の流入・定着環境を整備し、すべての子育て家庭が安心して子育てができる環境とするため、子ども医療費及び児童手当の所得制限を市独自でなくすと共に、保育料における多子世帯の軽減基準の見直しに必要なシステム改修費用を計上する。

2 従業員居住実態調査費（商工課）

100 万円

- ・立地企業における従業員の居住地を調査し、同時に企業の行政支援内容のニーズ把握、流入人口増加対策に関する意見徴収を行う。調査結果を分析することで、効果的な生産年齢人口の市内流入増加施策の立案を図る。

◎ DX（デジタルトランスフォーメーション）等の推進

1 窓口サービス等デジタル化推進事業費（デジタル推進課） 208 万 4 千円

- ・窓口サービスの向上と感染症防止対策のため、地区市民センター3カ所及びサテライトオフィスへ、キャッシュレス決済システムを導入する。

2 証明書コンビニ交付サービス事業費（戸籍・住民登録課）

1,472 万 7 千円

- ・行政サービスのデジタル化による利便性の向上及び、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、市役所窓口への市民の来庁抑制を図るため、コンビニ交付システム構築費を計上する。

3 個人番号カード交付事業費（戸籍・住民登録課）

484 万 8 千円

- ・マイナポイント第2弾の付与期間終了後、マイナンバーカード交付申請者に対し、マイナポイントの代わりとなるものを付与することで、交付促進を図る費用を計上する。

4 放課後児童対策事業費（子ども未来課）

3,330 万円

- ・学童保育所において、オンラインで行われる、会議、相談支援、研修等に必要なICT機器及び必要なシステム基盤の導入にかかる経費を補助する。また、感染症対策を徹底しつつ事業を継続的に提供していくために必

要な経費を補助する。

5 教育支援体制整備事業費（学校支援課） 225 万 8 千円

- ・保育での活用、教員研修や小学校との交流事業等を行うための I C T 環境の整備に必要な費用を計上する。また、屋内での密の回避、近距離での活動時の飛沫を防ぐための対策に必要な費用を計上する。

◎ 全員参加型の市政に

1 市議会議員選挙費（総務課） 15 万 9 千円

- ・最近の物価変動等により、令和 4 年 4 月に公職選挙法施行令が改正され、選挙公営費が一部変更されたことを受け、条例及び規程の改正に伴い、自動車借上料、自動車燃料費、ビラ作成費等を増額する。

◎ 命を守ることが最優先

1 民間社会福祉施設等整備費補助金（介護高齢課） 5,842 万 7 千円

- ・国庫補助金である地域介護・福祉空間整備等交付金を活用し、既存のグループホーム等の利用者の安全・安心を確保するために、大規模改修及び非常用自家発電設備を設置等するための費用を補助する。

2 避難路沿道建築物耐震支援事業費（都市整備課） 573 万 3 千円

- ・三重県地域防災計画に定める第 1 次緊急輸送道路に対し、地震によって倒壊することにより道路を閉鎖する恐れのある沿道建築物で、耐震診断が義務付けられる建築物（要安全確認計画記載建築物）の耐震診断に要する費用に対し補助を実施し、耐震化を促進することで、円滑な避難が困難になることを防止する。

3 道路施設維持補修費（アセットマネジメント課） 579 万 2 千円

- ・令和 4 年 7 月の豪雨で市道側溝に土砂が流入したことによる土砂撤去や破損した側溝の修繕等を行う。また、令和 4 年 6 月に発生した道路側溝用グレーチングの盗難により、現場の安全確保を早急に図る必要があり、同等のグレーチングを購入し、設置するための費用を計上する。

4 救助関係経費（消防本部総務課） 222 万 8 千円

- ・総務省消防庁が実施する国有財産等の無償制度を活用し、令和 4 年度中にハイスペックドローンの配備が決まった。ハイスペックドローン配備後の運用に万全を期すため、訓練用のドローン購入費及びドローンのパイ

ロット養成コース費等を計上する。

5 消防活動用機器整備費（消防本部総務課） 124 万 6 千円

- ・経年劣化により使用ができなくなった水難救助の際に使用する、BCジャケット（Buoyancy Compensating Device：浮力補正装置）等を新規更新する。

6 消防団活動費（消防本部総務課） 22 万 6 千円

- ・安全装備品整備事業助成金を活用し、消防団員が安全に活動するための装備品として、携帯用投光器を配備する。

7 道路施設（道路橋りょう施設災害復旧費）（土木課） 1,250 万円

- ・令和4年7月の豪雨に起因して、沢地川と並走する市道沢地川線の路肩法面が洗堀及び崩壊した。また、市道古野ゴルフ場線の法面の土砂が流出した。被害が拡大する危険性が高いことから、災害復旧を行う費用を計上する。

◎ こどもを3人育てられるまち

1 市道天王平1号線（新たな学校づくり課） 645 万円

- ・多度地区の小中一貫校整備を進めるにあたり、学校進入路の歩行者の安全確保のため、現道を拡幅し、車道と歩道を分離する必要がある。今回は対象場所の用地測量及び不動産鑑定を実施するための費用を計上する。

2 多度地区小中一貫校整備事業費（新たな学校づくり課） 551 万 8 千円

- ・多度地区の小中一貫校整備を進めるにあたり、用地買収に必要な地権者調査を行うための費用及びDB方式による事業者選定を進めるために必要なアドバイザー業務費用を計上する。

3 施設維持補修費（小学校費）（教育総務課） 1,201 万 8 千円

- ・令和4年5月、6月に断続的に発生した大雨の被害に対する星見ヶ丘小学校の雨漏り等の施設修繕費用を計上する。また、在良、桑部小学校の空調設備の故障による施設修繕費用を計上する。

4 施設維持補修費（中学校費）（教育総務課） 508 万 2 千円

- ・成徳中学校の空調設備の故障及び陵成中学校の放送設備の故障による施設修繕費用を計上する。

◎ 地理的優位性を活かした元気なまち

1 道路防災対策事業費（土木課） 8,700 万円

- ・市道上之輪嘉例川線について、大型交通量の増加により路面損傷が進行し、通行に支障が生じている。災害の予防保全の観点から、早期対策を講じる。

◎ 桑名をまちごと『ブランド』に

1 ブランド推進事業費（ブランド推進課） 124 万 6 千円

- ・本多忠勝と千姫の大河ドラマ誘致にあたり、令和 5 年の大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて P R 活動を実施することで、誘致の弾みをつけ、市民の機運を醸成するために必要な費用を計上する。

2 国産小麦産地生産性向上事業費（農林水産課） 1,408 万 6 千円

- ・外国産麦から国産麦への切り替えを推進するため、生産性の向上に必要な営農技術及び機械の導入を支援し、生産拡大を推し進めることにより、国産麦の安定的な供給体制の構築を図る。

3 桑名駅北駐輪場施設管理運営費（都市管理課） 22 万 3 千円

- ・「桑名駅北自転車駐車場の利便性向上」への寄附金を活用し、同施設に設置する自転車空気入れを購入する。